

データシート



ピュア・ストレージの DirectMemory キャッシュ

ストレージクラス・メモリでアプリケーションを加速

性能

- 読み取りレイテンシーを最大 50% 削減
(150 マイクロ秒まで短縮)
- アレイのスループットが向上

容量

- 3 TB オプション : 750 GB の
DirectMemory モジュール 4 基搭載
- 6 TB オプション : 750 GB の
DirectMemory モジュール 8 基搭載

サポートされているアレイ

- FlashArray//X70R2
- FlashArray//X90R2

あらゆる組織がデータ価値の最大化をめざしています。そこでまず行われたのが、ハードディスク・メディアから SAS ソリッドステート・ドライブへの移行でした。エンタープライズ・ストレージは、この移行を境に進化を続け、ストレージにアクセスするための新たな種類の手法として **NVMe** が誕生しました。しかし、アプリケーションが求める応答速度は高まるばかりです。加えて、従来の NAND とローカル・メモリ（DRAM）の間には、性能面でもコスト面でも大きな差がありました。進化の成果として次に生まれたのがストレージクラス・メモリ（SCM）です。Purity Optimize の DirectMemory キャッシュは、データベース、データ分析、レポート機能の性能を容易に高めます。

DirectMemory キャッシュ・ソフトウェア

コアのオペレーティング・システム、**Purity for FlashArray™** の一部として機能する DirectMemory キャッシュは、新たな SCM テクノロジーをソフトウェア・レベルで統合します。Purity Optimize は、アレイのフラッシュ・メディアの読み取りを、自動的に Intel Optane 搭載のオンボード DirectMemory モジュールへの参照とします。

DirectMemory モジュールは、新規・既存の FlashArray//X70R2 および //X90R2 に無停止で組み込めます。組み込みが完了すると、DirectMemory キャッシュはすぐに機能します。煩雑な構成やチューニングの作業は不要です。FlashArray のワークロードでアレイのレイテンシーが低減し、スループットも向上します。オンライン・トランザクション処理（OLTP : Online Transaction Processing）やインメモリ・データベースにおいては、特に大きな効果を期待できます。

容易な性能向上

DirectMemory キャッシュは、FlashArray//X の大幅な性能向上を可能にします。現時点では、100% NVMe DirectFlash™、NVMe-oF DirectFlash を利用したケースで 250 マイクロ秒のレイテンシーを実現しています。DirectMemory キャッシュは、読み取りレイテンシーを最大 50% 低減します。さらに、スループット性能の向上と、システム・リソースのオフロードの効果も期待できます。

DirectMemory モジュール

DirectMemory モジュールは、[FlashArray//X](#) のアレイ・シャーシにプラグアンドプレイで容易に実装できます。また、本番環境の FlashArray にも無停止で組み込めます。DirectMemory キャッシュは、Intel Optane テクノロジーを採用することでレイテンシーを抑え、DRAM メモリとほぼ同レベルにしています。また、従来の DRAM メモリと比較して永続性が向上し、画期的な耐久性を実現しています。750 GB の DirectMemory モジュールから構成される 3 TB または 6 TB のパックで SCM の容量を拡張できるため、あらゆる要件に対応します。

関連リソース

- 製品 Web ページ : [FlashArray//X](#)
- 用語集 : [ストレージクラス・メモリとは](#)
- データシート : [Purity オペレーティング環境](#)
- データシート : [FlashArray//X](#)

ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社

お問い合わせ : 03-4563-7443 (代表)

<https://www.purestorage.com/jp/contact.html>

